

備前市施策評価シート

(平成19年度事業)

施策名 (小項目)	高等学校	コード 03-01-03	作成者	役職	教育総務課長
			氏名	山本 健次	
			電話	0869-64-1802	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目(基本施策)	未来を支える人材を育むまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	多様なニーズや目的を持った生徒に対応し、生徒の特性に応じたきめ細かな教育を提供するために、ソフト・ハードの両面での教育環境の充実を図る。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	片上高等学校が担ってきた「勤労青年に対して高等学校教育を施す」という役割は、しだいに薄れてきている現状がある。近年、入学者数は増加傾向にあるが、中途退学者の割合が増加傾向にあることから、多様な教育的ニーズをもつ生徒を受け入れてきている。そのため、生徒一人一人に応じたきめ細やかで多様な教育を提供するとともに、教育環境を整備する等、学校へ人的・物的支援を行う必要がある。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 特色ある学校づくりの推進 個に応じた教育の充実 	

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

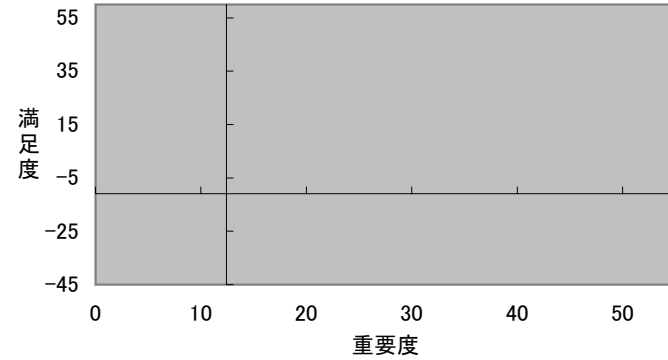
調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)			
満足度(%)			

<見直し領域>
その施策や事業が必要か否かの検討が必要

<維持領域>
現状の方向を継続

<検討領域>
その施策や事業の存続の検討が必要

<強化領域>
内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う



調査結果に対するコメント、市民の反応等	調査対象でない施策の場合は、市民の反応等
	全校生徒に占める市内の在学生の割合が低くなっている。市民の関心も高いとはいえないが、東備地域唯一の夜間定時制高校として大きな役割を果たしている。

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H20	H23	H28		
1 定員充足率	目標	%	60.0	60.0	60.0	65.0	70.0	80.0	在籍者数/学校定員数
	実績	%	54.4	55.0	60.0				
	達成率	%	90.7	91.7	100.0				
2 入学時生徒数に対する卒業時生徒数の割合	目標	%	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	卒業者数/入学時生徒数
	実績	%	84.0	62.0	51.9				
	達成率	%	93.3	68.9	57.7				
3	目標								
	実績								
	達成率	%							
4	目標								
	実績								
	達成率	%							

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									H20当初予算			
				H17			H18			H19						
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数				
1	定時制高等学校管理運営事業	B	定時制高等学校管理運営事業	施設維持管理	8,080	10,395	2.55	11,156	10,430	1.30	10,574	5,237	0.70	☆☆☆	\$\$\$	13,182
2	定時制高等学校教育振興事業	C	電算機借上事業	その他単市	0			3,018			3,018	0	0.00	☆☆☆	\$\$\$	3,018
			教材備品整備事業	その他単市	93			169			81	0	0.00	☆☆☆	\$\$\$	113
			全国大会出場補助事業	その他単市	115	3,760	2.25	15	3,255	0.40	44	0	0.00	☆☆	\$\$\$	15
			図書整備事業	その他単市	52			61			41	0	0.00	☆☆	\$\$\$	60
			就学奨励事業	単市補助給付	0			0			0	0	0.00	☆		0
3	定時制高等学校運営支援事業	C	高等学校教育研究部支援事業		20			20			20	0	0.00	☆☆☆	\$\$\$	20
			県高等学校教育研究会負担金		17			17			16	0	0.00	☆☆	\$\$\$	17
			全国定通校長会費事務		6			6			8	0	0.00	☆☆	\$\$\$	6
			県高等学校定時制通信制教頭協会費事務		10			10			12	0	0.00	☆☆	\$\$\$	12
			全国教頭会費事務		5			5			5	0	0.00	☆☆	\$\$\$	5
			県教頭会費事務		2			2			1	0	0.00	☆☆	\$\$\$	2
			教科書給与補助事業		305	2,290	0.25	273	1,080	0.10	343	0	0.00	☆☆☆	\$\$\$	401
			県高等学校体育連盟負担金事務		21			22			20	0	0.00	☆☆	\$\$\$	36
			部活動支援事業		20			20			20	0	0.00	☆☆	\$\$	20
			高等学校運営事業		72			54			77	108	0.01	☆☆☆	\$\$	52
			県高等学校定時制通信制教育振興会負担金事務		65			65			68	0	0.00	☆☆	\$\$\$	76
			全国定時制通信制高等学校長会定通部会費事務		3			3			3	0	0.00	☆☆	\$\$\$	4
全国高等学校給食協議会運営支援事業		1			1			1	0	0.00	☆☆	\$\$\$	1			
校内研修支援事業		0			0			0	0	0.00	☆☆☆		0			
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				H17	H18	H19	H20当初(直接事業費)									
				8,887	16,445	5.05	14,917	14,765	1.80	14,352	5,345	0.71	17,040			

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度 (中・長期目標に対する)	3	退学者の率が上昇している。要因の把握に努めると共に、特色ある学校づくりや学習目的に応じた教育を一層推進する必要がある。	3	同左
2 事業構成の適当性	2	厳しい財政状況の中ではあるが、教育内容充実のための事業が少ない。	2	同左
3 施策の有効性 (評価年度の目標達成)	3	定員充足率は今期の目標を達成している。東備地域唯一の定時制高校として大きな役割を果たしている。今後とも多様なニーズに対応した事業を展開していく必要がある。	3	同左
担当への指示 (今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)	中途退学者の率が悪化している。要因を調査し対策を講じる必要がある。いずれにしても、今後、多様化する生徒のニーズを、的確に把握し、教育内容とともに、魅力ある学習環境を提供していく必要がある。		同左	
二次評価者コメント 役職 教育次長 氏名 山本 健次	東備地域唯一の定時制高等学校として大きな役割を占めている。入学者数は増加しているものの、中途退学者数も増加していることから、今後、より一層魅力ある学習環境の整備と人的・物的支援を行う必要がある			基本施策への貢献度 3中立